

# 令和2年度MaaS社会実装モデル構築に関する実証事業

## 本事業の背景・目的

東京版Society5.0である「スマート東京」の実現に向けて、データ・先端技術等を活用した新たなサービスの早期社会実装プロジェクトを、モビリティ/MaaS等のいくつかの分野で先行的に実施

⇒「稼ぐ力」を有するMaaSの社会実装の可能性を検証

## 支援内容の展開

### 令和元年度実証

交通・移動課題の解決に資するマルチモーダルなMaaSの社会実装の可能性を検証



### 令和2年度実証

多様な交通モードと他サービス分野の連携による新たなサービス創出に取り組み、「稼ぐ力」を有するMaaSの社会実装の可能性を検証

## 検証のポイント

### 東京版MaaSのあり方を 3つの観点で整理

- 公共性** 誰のどのような課題を解決するか
- 事業性** 事業として成立させるためにどのように稼ぐか
- 広域性** どのような連携により事業を実現するか



### 実証実験を通じた検証により 「稼げる」モデルを構築

- MaaSにより解決できる課題・ニーズ、事業継続に向けたマネタイズの方法、交通サービス・周辺サービス間の連携方法を検証
- 社会実装に向けた方向性・課題を整理

⇒次ページの実証実験ごとに、各観点に照らして検証を行い、地域経済や住民の安心・安全な生活を支えるMaaSの実現可能性が明らかになりました。

# 実証実験の概要一覧

- 2020年のMaaS実証実験は、町田、多摩、臨海の合計3つのエリアを対象としてそれぞれ実施しました。

	実証実験①：町田エリア	実証実験②：多摩エリア	実証実験③：臨海エリア
テーマ	交通空白地域における施設連携型オンデマンド交通運行と乗り継ぎ情報提供を通じた交通サービスネットワーク構築事業	東京多摩エリアにおける生活利便性向上を実現するMaaSの実効性検証プロジェクト（東京多摩エリアにおけるMaaS「TAMa-GO」）	臨海副都心エリアのMaaS実証実験『Enjoy！おうちでお台場』
実施主体	小田急電鉄株式会社、東日本旅客鉄道株式会社	京王電鉄株式会社	株式会社ナビタイムジャパン、KDDI株式会社
対象地域	東京都町田市山崎団地周辺	東京都多摩市を中心とする東京多摩エリア	東京臨海副都心エリア（お台場など）
実証期間	2021年1月18日～3月12日	2021年1月13日～2月28日	2021年2月25日～3月22日
背景・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>より高い利便性の公共交通を「交通空白地域」に提供することで域内居住者の公共交通による外出を容易にし、人々の暮らしやすさと健康を促進すると共に地域全体の活性化を目指す</li> <li>自家用車に依存した移動スタイルからの脱却と、それによる自家用車の多用に起因する道路渋滞の解消を目的として、複数の公共交通サービスを組み合わせた移動の利便性を向上させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通利便性・生活利便性を向上させ、東京多摩エリアを高齢者・若年層・ファミリー層の持続的な居住を可能とする便利な街にするとともに、自治体や企業と連携しながら街の活力を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨海エリアの課題「エリアまでの移動利便性の向上」・「エリアでの回遊性向上」の解決に加え、With/Afterコロナでの移動需要減少に対し「エリアへのおでかけ“喚起”」を行うMaaSを展開する</li> <li>Withコロナでは、安全・安心な移動の提供、そしてAfterコロナを見据えた将来の移動需要の喚起が必要であるため、前者に対しては密や接触を回避する施策を、後者に対してはエリアの魅力を発信・体験できる施策を実施する</li> </ul>
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンデマンド交通「E-バス」の実証運行：町田市の山崎町周辺エリアに、利用者のリクエストに応じて運行する「オンデマンド交通」を導入</li> <li>鉄道・路線バスのリアルタイム情報に基づくリアルタイム経路検索サービス：複数の交通事業者が連携して、遅れなどのリアルタイム情報を考慮した経路検索サービスを提供</li> <li>商業施設連携型の交通サービス券：商業施設等の協力施設来店者に路線バス及びオンデマンド交通の乗車券を提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通サービスの統合：リアルタイム検索やマルチモーダル検索、各種交通予約サービスを統合</li> <li>ラストワンマイルの補完：タクシー車両を利用し、聖蹟桜ヶ丘駅と駅南東部を結ぶ相乗り型輸送を提供</li> <li>チケットのデジタル販売を活用した交通と各種サービス連携：交通と商業施設の連携、高尾山きっぷのデジタル化、生活利便性向上を目指したサブスクリプションサービスを提供</li> <li>情報発信・活用：おでかけ情報のデジタルマップでの発信、位置情報を利用した販促情報発信、大学などとの連携による利用データ分析を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来的な移動需要の喚起の取組として TVアニメ『ラブライブ！虹ヶ咲学園スクールアイドル同好会』にゆかりのある場所をバーチャル空間上に再現したVRコンテンツの提供と特設サイト「Enjoy! おうちでお台場」にて臨海エリア施設のデジタルコンテンツを提供</li> <li>エリア迄の移動利便性向上、エリア内の回遊性向上の取組として、「ここ地図」アプリ内でMaaS機能をリリース。マルチモーダルルート検索機能、ドコモ・バイクシェアの予約・決済機能等を提供</li> <li>With/Afterの安全・安心な移動をサポートする取り組みとして、「ここ地図」アプリ内で混雑エリアマップや東京ベイシャトルの混雑情報を提供</li> </ul>

# 今後の発展可能性

- 東京都におけるMaaSの今後の発展に向けては、交通分野・交通利用者にとどまらない課題・ニーズへの対応、交通以外の他分野サービスと連携した新たなサービス・マネタイズ手法の創出、エリア単位での多面的なデータ連携などの検証が期待されます。

